

JADA（アメリカ歯科医師会機関誌）掲載文献

JADA, Vol.135, February 2004

“Effect of light energy on peroxide tooth bleaching”

by Karen Luk, D.D.S.; Laura Tam, D.D.S., M.Sc.; Manfred Hubert, Ph.D.

Conclusion:

“Dentists performing an in-office bleaching technique with the use of an additional light source to accelerate tooth whitening should consider the specific bleaching agent being used, as well as the potential risks of heating teeth.”

訳文：特別な光源を使用してオフィスブリーチングを行う歯科医師は、特定の薬剤のみならず、**歯牙に与える熱の潜在的リスク**を考慮に入れる必要がある。

A specific combination of bleach and light that demonstrates good colorchange and little temperature rise should be selected for in-office tooth bleaching.”

訳文：オフィス・ブリーチングの場合、漂白剤と光をうまく使うことで着色が効果的に取り除けるが、**歯牙の温度を上げないものを選択する必要がある。**

製品比較

上記のように、トゥースホワイトニングを行う上でその効果と安全性は非常に重要視されます。ビヨンド・ホワイトニング・システムは特許取得済の特殊フィルターで光の熱をカットし、「歯髄炎」などのリスクを回避した上で、効果的なホワイトニングが行えるのです。

	光源	波長	発熱	ランプ交換
Beyond	ハロゲン	可視光線 (480-520nm)	特殊フィルターで 発熱をカット	安価
製品 A	メタルハライド	紫外線 (吸収波長310nm)	非常に強い発熱火傷や メラニンのリスクあり	高価
製品 B	LED	可視光線 (420-500nm)	若干の発熱あり (光量は大幅に劣る)	高価
製品 C	キセノン	可視光線 (460nm)	強い発熱あり	-